



## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 アイフル株式会社

コード番号 8515 URL <http://aiful.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 福田 吉孝

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長

(氏名) 山内 郁雄

TEL 075-201-2010

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	42,884	△7.9	5,991	△52.0	7,523	△44.2	7,796	△60.2
26年3月期第2四半期	46,586	△8.1	12,485	△13.7	13,494	△3.6	19,574	△0.3

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 7,831百万円 (△61.5%) 26年3月期第2四半期 20,335百万円 (3.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
27年3月期第2四半期	16.20	16.13
26年3月期第2四半期	40.70	40.48

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	536,790	141,658	26.3
26年3月期	577,339	133,541	23.1

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 141,092百万円 26年3月期 133,129百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	86,635	△5.7	12,118	△46.1	13,786	△44.3	14,162	△53.5	29.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期2Q	483,260,636 株	26年3月期	481,867,836 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

27年3月期2Q	916,648 株	26年3月期	916,568 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	481,291,974 株	26年3月期2Q	480,951,800 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の発表時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しておりますが、この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外となっております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P 2
(1) 経営成績に関する定性的情報	P 2
(2) 財政状態に関する定性的情報	P 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P 3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P 4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積の変更・修正再表示	P 4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	P 4
4. 四半期連結財務諸表等	P 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P 9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P 11
(継続企業の前提に関する注記)	P 11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P 11
(重要な後発事象)	P 11
5. 補足情報	P 12
(1) 営業実績（連結）	P 12
【営業収益】	P 12
【その他の指標】	P 13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の積極的な経済政策などから企業収益や雇用環境の改善傾向が続き、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動など、一部に弱さは見られるものの、緩やかな回復基調が続いております。

消費者金融業界におきましても、景気の回復や大手各社の積極的な広告展開などにより新規成約件数においては引き続き好調さを維持しており、また、営業貸付金残高においては底打ち感が鮮明になるなど、着実に回復に向かいつつあります。

一方、業界最大の事業リスクである利息返還請求については、ピーク時から着実に減少しているものの、足もとではほぼ横ばいで推移しており、未だ不透明感が続いております。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、平成26年6月10日に事業再生ADRに基づく事業再生計画期間中における最終弁済を行い、同年7月10日をもって事業再生計画期間が終了いたしました。

また、同年7月10日時点での残存債務につきましては、同年6月13日付ニュースリリース「事業再生計画期間の終了及び金融支援の継続に関するお知らせ」に記載のとおり、同日に開催した債権者会議において対象債権者の皆様の同意を得て、債務の一部を弁済したうえで、金融支援を継続していただくことが決定しております。

今後におきましては、最大の経営課題である利息返還請求へ対応しつつ、新事業計画における弁済計画を着実に履行してまいります。このほか、グループ全体での事業効率の向上を図るとともに、優良債権の獲得による債権ポートフォリオの更なる良質化に努め、トップラインの増加を目指してまいります。

## (業績の概況)

当第2四半期連結累計期間における当社グループの営業収益は42,884百万円(前年同期比7.9%減)となりました。その主な内訳といたしましては、営業貸付金利息が22,644百万円(前年同期比12.4%減)、包括信用購入あっせん収益が6,581百万円(前年同期比0.5%減)、信用保証収益が5,141百万円(前年同期比24.0%増)、買取債権回収高が925百万円(前年同期比28.4%減)、償却債権回収額が4,092百万円(前年同期比20.5%減)となっております。

営業費用につきましては、36,893百万円(前年同期比8.2%増)となりました。その主な要因といたしましては、金融費用が4,505百万円(前年同期比43.4%増)となったことなどによるものであります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの営業利益は5,991百万円(前年同期比52.0%減)となり、経常利益は為替差益1,457百万円などの営業外収益1,589百万円(前年同期比55.2%増)を計上したことにより7,523百万円(前年同期比44.2%減)、四半期純利益は7,796百万円(前年同期比60.2%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する定性的情報

## (資産、負債、純資産、及びキャッシュ・フローの状況に関する分析)

当第2四半期連結会計期間末における資産は、前期末に比べ40,548百万円減少の536,790百万円(前期末比7.0%減)となりました。減少の主な要因は、総量規制の影響などから、営業貸付金が28,483百万円減少

したことなどによるものであります。

負債につきましては、前期末に比べ48,664百万円減少の395,132百万円（前期末比11.0%減）となりました。減少の主な要因は、借入金の返済により68,451百万円減少したほか、期中利息返還への充当により利息返還損失引当金が14,897百万円減少したことなどによるものであります。

純資産につきましては、前期末に比べ8,116百万円増加の141,658百万円（前期末比6.1%増）となりました。増加の主な要因は、四半期純利益を計上したことなどによるものであります。

#### （キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」といいます。）は、前期末に比べ17,613百万円減少の49,263百万円（前期末比26.3%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間における、各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は22,244百万円（前年同期比58.7%減）となりました。これは主に、営業貸付金などの営業債権の減少による資金の増加が、利息返還損失引当金の減少による資金の減少を上回ったことによるものであります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は630百万円（前年同期は2,255百万円の回収）となりました。これは主に、有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出によるものであります。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は39,279百万円（前年同期比23.0%減）となりました。これは主に、借入金の返済による支出によるものであります。

### （3）連結業績予想に関する定性的情報

当社グループを取り巻く経営環境は、景気の回復や大手各社の積極的な広告展開などにより新規成約件数においては引き続き好調さを維持しており、また、営業貸付金残高においては底打ち感が鮮明になるなど、着実に回復に向かいつつあります。

一方、業界最大の事業リスクである利息返還請求については、ピーク時からは着実に減少しているものの、足もとではほぼ横ばいで推移しており、未だ不透明感が続いております。

このような環境のもと、当社グループは最大の経営課題である利息返還請求へ対応しつつ、新事業計画における弁済計画を着実に履行してまいります。このほか、グループ全体での事業効率の向上を図るとともに、優良債権の獲得による債権ポートフォリオの更なる良質化に努め、トップラインの増加を目指してまいります。

平成27年3月期の当社グループの業績予想といたしましては、当第2四半期連結累計期間の業績等を踏まえ、営業収益86,635百万円（前期比5.7%減）、営業利益12,118百万円（前期比46.1%減）、経常利益13,786百万円（前期比44.3%減）、当期純利益14,162百万円（前期比53.5%減）を見込んでおります。

なお、業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報等に基づいて作成したものであります。しかしながら、現状の当社を取り巻く事業環境は、様々なリスクが存在し、とりわけ利息返還請求の動向が未だ不透明であることから、最終の業績は予想値と異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### （2）会計方針の変更・会計上の見積の変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループは、金融機関からの借入れ、社債発行、営業貸付金債権の流動化などの多様な手法により、短期・長期の資金調達を行ってまいりましたが、平成18年の最高裁判決を契機として増大した利息返還請求による資金負担増や急激な資金調達市場の悪化などを要因として、当社グループがその事業を継続するだけの新たな資金調達が困難な状況に至るおそれがあり、平成22年3月期連結会計年度より、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当該状況を解消すべく、当社グループは、今後の事業再生と事業継続に向け強固な収益体質の確立及び財務体質の抜本的な改善を図るため、平成21年9月24日、事業再生ADR手続の申込を行い、同年12月24日に開催された債権者会議において金融支援を含む事業再生計画が承認され、事業再生ADR手続が成立いたしました。

事業再生計画に基づき、当第2四半期連結累計期間において16,500百万円、手続成立後の累計では、110,391百万円を対象債権者に弁済してまいりました。

また、平成26年6月10日の最終弁済履行後の残存債務161,740百万円につきましては、同年6月13日に開催された債権者会議において、対象債権者の皆様の同意により、債務の一部を弁済したうえで、金融支援を継続していただくことが決定し、同年7月10日に当該一部弁済、対象債権の買取及び社債との交換を行い、残存債務52,700百万円については、弁済スケジュールを変更しております。

当社グループは、新事業計画に定める具体的な対応策を実施することで、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

4. 四半期連結財務諸表等  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	66,880	49,267
営業貸付金	321,149	292,666
割賦売掛金	85,264	79,723
営業投資有価証券	825	797
支払承諾見返	102,419	109,881
その他営業債権	7,126	6,536
買取債権	2,233	2,024
その他	12,132	11,817
投資損失引当金	△18	△19
貸倒引当金	△69,540	△64,907
流動資産合計	528,473	487,787
固定資産		
有形固定資産	17,108	17,056
無形固定資産	3,057	2,491
投資その他の資産	28,700	29,455
固定資産合計	48,865	49,002
資産合計	577,339	536,790
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,261	8,092
支払承諾	102,419	109,881
短期借入金	49,250	46,190
1年内償還予定の社債	—	15,000
1年内返済予定の長期借入金	16,800	3,392
未払法人税等	619	557
引当金	4,098	4,364
その他	9,048	9,705
流動負債合計	192,498	197,183
固定負債		
社債	25,000	38,800
長期借入金	162,865	110,882
利息返還損失引当金	59,881	44,984
その他	3,551	3,281
固定負債合計	251,299	197,948
負債合計	443,797	395,132

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	143,324	143,390
資本剰余金	164,392	164,457
利益剰余金	△171,652	△163,856
自己株式	△3,110	△3,110
株主資本合計	132,953	140,880
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	176	212
その他の包括利益累計額合計	176	212
新株予約権	412	565
純資産合計	133,541	141,658
負債純資産合計	577,339	536,790

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業収益		
営業貸付金利息	25,843	22,644
包括信用購入あっせん収益	6,615	6,581
個別信用購入あっせん収益	87	65
信用保証収益	4,147	5,141
その他の金融収益	5	10
その他の営業収益	9,886	8,440
営業収益合計	46,586	42,884
営業費用		
金融費用	3,141	4,505
売上原価	934	664
その他の営業費用	30,024	31,722
営業費用合計	34,101	36,893
営業利益	12,485	5,991
営業外収益		
為替差益	708	1,457
その他	315	131
営業外収益合計	1,023	1,589
営業外費用		
貸倒引当金繰入額	0	38
その他	14	17
営業外費用合計	14	56
経常利益	13,494	7,523
特別利益		
投資有価証券売却益	164	325
負ののれん発生益	2,305	—
債権買取益	3,840	320
その他	88	—
特別利益合計	6,398	645
特別損失		
投資有価証券評価損	25	—
事業構造改善費用	9	—
その他	6	—
特別損失合計	42	—
税金等調整前四半期純利益	19,850	8,169
法人税、住民税及び事業税	266	354
法人税等調整額	8	18
法人税等合計	275	372
少数株主損益調整前四半期純利益	19,574	7,796
少数株主利益	—	—
四半期純利益	19,574	7,796

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	19,574	7,796
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	760	35
その他の包括利益合計	760	35
四半期包括利益	20,335	7,831
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	20,335	7,831
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	19,850	8,169
減価償却費	2,009	1,447
債権買取益	△3,840	△320
負ののれん償却額	△2,414	—
投資損失引当金の増減額 (△は減少)	△3	△0
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△7,990	△5,578
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△9	5
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	220	260
利息返還損失引当金の増減額 (△は減少)	△14,907	△14,897
受取利息及び受取配当金	△17	△26
投資有価証券売却損益 (△は益)	△157	△325
営業貸付金の増減額 (△は増加)	53,561	28,483
割賦売掛金の増減額 (△は増加)	4,193	5,540
その他営業債権の増減額 (△は増加)	40	590
買取債権の増減額 (△は増加)	204	209
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	1,664	1,378
営業保証金等の増減額 (△は増加)	△710	△1,025
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	5,748	296
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△2,704	△1,427
その他	196	△184
小計	54,934	22,594
利息及び配当金の受取額	17	26
法人税等の還付額	71	40
法人税等の支払額	△1,122	△416
営業活動によるキャッシュ・フロー	53,900	22,244
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△130	△676
有形固定資産の売却による収入	1,269	141
無形固定資産の取得による支出	△203	△185
投資有価証券の売却による収入	357	375
その他	963	△285
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,255	△630
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	270,560	303,910
短期借入金の返済による支出	△264,170	△306,970
長期借入れによる収入	—	60,300
長期借入金の返済による支出	△48,450	△125,371
社債の発行による収入	—	28,800
社債の償還による支出	△8,700	—
株式の発行による収入	—	89
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の処分による収入	0	—
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△284	△36
財務活動によるキャッシュ・フロー	△51,044	△39,279

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	17	51
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	5,128	△17,613
現金及び現金同等物の期首残高	61,198	66,876
現金及び現金同等物の四半期末残高	66,326	49,263

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

5. 補足情報

(1) 営業実績 (連結)

【営業収益】

セグメント の 名 称	項 目	前年同四半期 平成26年3月期 第2四半期		当四半期 平成27年3月期 第2四半期		(参考) 前期 (平成26年3月期)	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
アイフル 株式会社	営業貸付金利息	21,484	46.1	18,841	44.0	42,066	45.8
	無担保ローン	17,495	37.6	15,589	36.4	34,472	37.5
	有担保ローン	3,271	7.0	2,674	6.2	6,232	6.8
	事業者ローン	717	1.5	578	1.4	1,360	1.5
	包括信用購入あっせん収益	29	0.1	11	0.0	47	0.1
	個別信用購入あっせん収益	81	0.2	64	0.2	178	0.2
	信用保証収益	3,489	7.5	4,524	10.5	6,654	7.2
	その他の金融収益	4	0.0	4	0.0	9	0.0
	その他の営業収益	5,402	11.6	4,461	10.4	10,231	11.1
	償却債権回収額	5,074	10.9	3,996	9.3	9,536	10.4
その他	327	0.7	465	1.1	695	0.7	
小計	30,492	65.5	27,908	65.1	59,186	64.4	
ライフ カード 株式会社	営業貸付金利息	3,190	6.9	2,987	7.0	6,260	6.8
	無担保ローン	3,185	6.9	2,974	7.0	6,244	6.8
	有担保ローン	2	0.0	5	0.0	9	0.0
	事業者ローン	1	0.0	6	0.0	6	0.0
	包括信用購入あっせん収益	6,586	14.1	6,570	15.3	13,379	14.6
	個別信用購入あっせん収益	5	0.0	1	0.0	7	0.0
	信用保証収益	657	1.4	617	1.4	1,295	1.4
	その他の金融収益	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	その他の営業収益	2,886	6.2	2,955	6.9	6,041	6.6
	償却債権回収額	53	0.1	89	0.2	99	0.1
その他	2,832	6.1	2,866	6.7	5,941	6.5	
小計	13,326	28.6	13,132	30.6	26,985	29.4	
そ の 他	営業貸付金利息	1,168	2.5	815	1.9	2,251	2.5
	有担保ローン	584	1.3	173	0.4	821	0.9
	事業者ローン	583	1.2	642	1.5	1,429	1.6
	その他の金融収益	0	0.0	5	0.0	1	0.0
	その他の営業収益	1,598	3.4	1,022	2.4	3,433	3.7
	営業投資有価証券 売上高	197	0.4	54	0.1	248	0.2
	買取債権回収高	1,292	2.8	925	2.2	3,011	3.3
	償却債権回収額	16	0.0	6	0.0	26	0.0
その他	91	0.2	35	0.1	146	0.2	
小計	2,767	5.9	1,843	4.3	5,686	6.2	
合計	46,586	100.0	42,884	100.0	91,858	100.0	

(注) 1. ライフカード株式会社における「その他の営業収益」の「その他」は、カード会員収入等であります。  
2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

## 【その他の指標】

項目	前年同四半期 平成26年3月期 第2四半期	当四半期 平成27年3月期 第2四半期	(参考) 前期 (平成26年3月期)
営業貸付金残高 (百万円)	365,823	347,253	348,010
無担保ローン	264,030	266,169	261,221
有担保ローン	53,147	38,043	41,267
事業者ローン	48,645	43,040	45,521
口座数 (口座)	847,771	818,411	817,039
無担保ローン	794,455	773,547	768,700
有担保ローン	20,426	15,835	17,592
事業者ローン	32,890	29,029	30,747
店舗数 (店)	652	791	704
営業店舗 (有人)	26	26	26
営業店舗 (無人)	626	765	678
自動契約受付機 (台)	669	819	716
A T M台数 (台)	161,390	164,560	162,629
自社分	560	483	482
提携分	160,830	164,077	162,147
社員数 (人)	1,388	1,353	1,369

(注) 営業貸付金残高及び口座数は、破産更生債権等を含んでおりません。なお、債権の流動化によりオフバランスとなった営業貸付金（前年四半期末28,750百万円、当四半期末54,587百万円、前連結会計年度末26,860百万円）を含んでおります。